

科目	教育課程論	担当	田中 信幸	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

学習指導要領に教育課程の基準が示されている。これを学修することにより、学校に求められるさまざまな期待と、教育の今日的な課題について理解を深め、教師としてなすべきことを考える。

到達目標は、教育課程の編成、実施、評価に関する基礎的な知識を習得するとともに、特色ある学校づくりについて具体的に考えられるようになることである。

【履修注意】

教職課程を履修している学生だけを対象とする。

教育課程に関する基礎的な事項について確実に理解できるよう、受け身にならず積極的に授業に取り組むこと。

教育に関する最新の情報を収集・整理し、授業内容をより深く理解できるよう努めること。

全出席を原則とする。欠席が5回以上の場合は、単位を認めない。また、遅刻2回で欠席1回とする。

【評価方法】

定期試験、小論文、小テスト、課題、授業への参加意欲により総合的に評価する。

【試験について】

定期試験は、筆記試験を行う。

再試験対象者の条件：不合格者のうち、課題レポートがすべて提出され、筆記試験の得点が40点以上の者

【予習・復習】

2単位科目は90分の授業に対して90分の家庭学習(予習、復習)が必要である。授業時に家庭学習の内容について指示する。

【教科書】

購入教科書なし

【参考書】

中学校学習指導要領解説 総則編 著者：文部科学省 出版社：ぎょうせい

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	教育課程の意義	教育基本法 学校教育法 学習指導要領
2	教育改革と教育課程	中央教育審議会 教育再生実行会議 学校教育法施行規則
3	教育課程改革の流れⅠ	生きる力 ゆとり 完全学校週5日制 確かな学力
4	教育課程改革の流れⅡ	グローバル人材 英語教育の充実 コミュニケーション能力
5	教育における今日的課題	思考力・判断力・表現力の育成 アクティブ・ラーニング
6	教育課程編成の実際Ⅰ	小学校の教育課程 言語活動の充実 道徳の教科化
7	教育課程編成の実際Ⅱ	中学校の教育課程 授業時間数の拡充 1単位時間
8	教育課程編成の実際Ⅲ	中学校教育課程の私案作成・発表・討議
9	教育課程編成の実際Ⅳ	高等学校の教育課程 履修と修得 標準単位数 学科
10	教育課程編成の実際Ⅴ	高等学校教育課程の私案作成・発表・討議
11	教育課程編成の実際Ⅵ	特別支援学校の教育課程 障害者基本法 自立活動
12	特別支援教育の現状と課題	特別支援学級 通級指導 インクルーシブ教育
13	総合的な学習の時間の教育課程	横断的・総合的学習 問題解決能力 探究活動
14	特別活動の教育課程	学級活動・生徒会活動・学校行事の目標及び内容
15	教育課程の評価と改善	指導と評価の一体化 学校評価ガイドライン PDCAサイクル
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ